

発表者

高堰仁美氏

ご質問①

○「自分ナビ」「保護者ナビ」のアプリの実用化や使用方法における取組みを知りたい。

ご回答①

ご質問ありがとうございます。実用化につきましては、今回の効果検証を終えてから開始を考えておりました。そのため、研究外で使用をお願いする取組みはまだ行っておりませんでした。ただ、今回実証をしてみまして、一定の効果や意義が示されたものと考えられ、今後自治体や機関などと連携して実装していきたく考えております。実用化にあたっては、今回の研究結果を踏まえてアプリの改修や、アプリ支援の枠組み作り（支援マニュアルや支援体制作り）を現在進めているところです。

発表者

高堰仁美氏

ご質問②

○野上氏は6～12才児を持つ母親、高堰氏は2～6才児を持つ母親を対象としていたが、子ども年齢のとの関係性について何かお考えがあれば、伺いたい。また、父親をはじめ、他の家族が対象となっても問題はないですか？

(事務局注；このご質問は、野上氏、高堰氏双方に対するものとなっております。)

ご回答②

ご質問ありがとうございます。今回は研究実施の都合上、親の困り感やそこからくる怒りの内容を、ある程度統一したく思っておりました。統一することで、投稿される記録も親同士共感しやすく、身近なアドバイスもあげやすくなるのではと考えた次第です。そのため、2歳～6歳の未就学児の親を対象を限定し、したがって怒りのきっかけも、お子さんのトイレや食事、身支度など生活習慣の身につかなさやコミュニケーションなど似通ったものとなっております。

ただ、研究の観点でなく、実践の観点からは、使用対象は広く考えており、母親だけでなく父親含む、子どものケアをしその中で孤独感や、感情的問題を抱える人に広く使って頂きたいと思っております。

発表者

高堰仁美氏

ご質問③

- 一点質問させてください。
アプリの機能に対する構成概念や操作的定義は、どのように行なわれたのでしょうか。
ご教授いただけますと幸いです。

ご回答③

ご質問ありがとうございます。本アプリ（自分ナビ）は、「親の感情コントロールへのサポートを目指すもの」と定義しております。そこで、先行研究にもとづき、このアプリを構成する機能として、①感情コントロールの中でも特に適応的とされ、感情生起の早期に注意や認知をコントロールすることで感情を緩和・変容させる「認知的感情コントロール」と、②認知的感情コントロールの土台となる心理的安全性をはぐくむための「ソーシャルサポート」の2点を搭載することといたしました。お答えになっていなかったら申し訳ございません。